

区 分		平成17年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	平成22年度		平成23年度	平成24年度			
		決算	決算	伸率	決算	伸率	決算見込	伸率	伸率	伸率	伸率	伸率				
歳入	地方税、譲与税等	2,785	2,867	2.9	2,845	△ 0.7	2,773	△ 2.6	2,749	△ 0.9	2,746	△ 0.1	2,717	△ 1.1	2,687	△ 1.1
	地方交付税	4,011	3,924	△ 2.2	3,672	△ 6.4	3,662	△ 0.3	3,659	△ 0.1	3,603	△ 1.5	3,571	△ 0.9	3,525	△ 1.3
	国・道支出金	1,177	1,301	10.6	978	△ 24.8	913	△ 6.7	1,201	31.6	1,179	△ 1.8	1,088	△ 7.8	866	△ 20.4
	地方債	928	735	△ 20.8	548	△ 25.4	783	42.7	904	15.5	675	△ 25.3	954	41.3	463	△ 51.5
	その他の歳入	1,492	1,242	△ 16.8	1,772	42.7	1,418	△ 20.0	1,362	△ 3.9	1,115	△ 18.1	1,037	△ 7.0	1,274	22.8
歳入合計		10,394	10,069	△ 3.1	9,816	△ 2.5	9,547	△ 2.7	9,876	3.4	9,318	△ 5.6	9,367	0.5	8,816	△ 5.9
歳出	義務的経費	4,190	4,126	△ 1.5	4,111	△ 0.4	4,275	4.0	4,340	1.5	3,871	△ 10.8	3,688	△ 4.7	3,579	△ 3.0
	人件費	1,620	1,598	△ 1.3	1,581	△ 1.1	1,526	△ 3.5	1,531	0.3	1,480	△ 3.4	1,447	△ 2.2	1,433	△ 1.0
	扶助費	624	586	△ 6.1	623	6.2	673	8.0	673	0.0	673	0.0	673	0.0	673	0.0
	公債費	1,946	1,942	△ 0.2	1,907	△ 1.8	2,076	8.8	2,136	2.9	1,719	△ 19.5	1,569	△ 8.8	1,474	△ 6.1
	投資的経費	1,122	1,126	0.3	927	△ 17.7	886	△ 4.4	1,682	89.8	1,417	△ 15.7	1,624	14.6	1,314	△ 19.1
その他の歳出	5,017	4,727	△ 5.8	4,702	△ 0.5	4,386	△ 6.7	4,371	△ 0.3	4,355	△ 0.4	4,435	1.8	4,474	0.9	
歳出合計		10,329	9,979	△ 3.4	9,741	△ 2.4	9,547	△ 2.0	10,393	8.9	9,643	△ 7.2	9,748	1.1	9,367	△ 3.9
収 支		65	90		76		0		△ 517		△ 325		△ 381		△ 551	
財政運営計画		収支改善額							340		255		301		451	
		主要3基金取り崩し額						221		177		70		80		100
主要3基金残高		1,397	1,406		1,418		1,226		1,056		993		919		826	

※備考

平成20年10月見直しの標記中期財政試算では、平成21年度から平成24年度までの4年間で約18億円に及ぶ収支不足が生じる結果となったことから、健全な財政運営を行うため、同年11月に財政運営計画を策定し、更なる行財政改革による改善を図るとともに主要3基金を活用する中で財政運営を行っていくこととしたところであります。本計画は、平成19年度に策定した「公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画」の確実な実行を図る内容ともなっており、特に計画期間である平成23年度までは、計画に無い事業の着手は困難な状況にあります。また、標記計画のとおり基金残高も毎年減少し、平成24年度末の見込みでは10年前から半減し8億円と推計しているとともに、毎年4億円前後の収支改善を図らなければならない厳しい状況にあります。

更には今後、埋立処分地造成、町民会館ホール整備、水道未普及地域整備、電算システム更新、町立病院高度医療機器更新、消防救急無線デジタル化等の大型事業も控えています。

団塊の世代が高齢者となる2015年からは超高齢社会と言われており、その後の10～15年に医療や介護サービスの需要が最も増えるものと予想されます。その一方で、少子化の進行により高齢者を支える年齢層が減少していることから、極近い将来に必ずやって来る更に厳しい時代に耐えうる財政基盤をつくること、喫緊の課題であります。